



楽しいな！もぐもぐたいむ（4月11日、笠原小学校内のふじ児童クラブ）

3月定例議会

平成30年度一般会計予算

**当初予算を否決し、修正案を可決** …… 2

96億2,827万円で新年度スタート …… 4

国保の都道府県化はじまる …… 8

常任委員会人事・各議員の賛否 …… 12

町政をただす 一般質問に12人が登壇 …… 14

町民の声・町民と議員との懇談会のご案内 …… 22

3月定例議会は、2月15日から3月19日まで33日間の予定で開かれました。

町長から平成30年度一般会計予算や平成29年度一般会計補正予算など34件が提案され、予算特別委員会ならびに本会議で審議の結果、平成30年度一般会計予算は賛成5、反対7で否決しました。そのほかの議案はすべて原案のとおり可決、同意しました。

その後、会期を3月28日まで9日間延長し、修正された平成30年度一般会計予算が提出され、賛成10、反対2で可決しました。

一般質問では、12人の議員が質問に立ち、町政をただしました。

# 平成30年度一般会計予算

# 当初の提案を否決し、修正案を可決

賛成10、反対2



3月19日、平成30年

度一般会計予算案は、予算特別委員会の審議を経て、本会議において、委員長報告、質疑のあと、賛成2人、反対5人の討論がありました。

採決の結果、賛成5、反対7で否決されました。

討論の要旨は、次のとおりです。

### 賛成 討論

伊草弘之議員

借地の解消に向けて努力

①事務事業を総点検し、予算編成された。②元気な高齢者の社会参加に向けたアクティブシニア事業を開始する。③グリーンツーリズム事業を展開し、交流人口増を図っている。④子育て世代包括支援センターの新設で、切れ目のない子育て支援ができる。⑤借地の解消に向けて努力している。

### 反対 討論

丸藤栄一議員

保育料の引き下げがない

①町民のいのちと健康を守る国民健康保険事業への繰出しが大幅に減額されたこと。②敬老会は自治会や地域まかせにしないで、町が責任をもってお祝いをすること。③定住人口を増やすため、保育料の引き下げや学校給食の無料化を図ること。④カーブミラーや防犯灯などは、住民の要望に応えること。

### 賛成 討論

角野由紀子議員

着実な成果を期待

①総合計画達成に向け、着実な取り組みがある。まち・ひと・しごと創生総合戦略に対し、業績評価指標を意識し真面目に取り組む予算となっている。②町長公約の具体化へ努力がある。③一般質問や予算要望に配慮した形が見られる。限られた予算の中、行政サービス向上に向かう姿勢を評価する。

### 反対 討論

金子正志議員

長期的な展望が欠落

長期的な展望が欠落しながら予算が組まれている。問題の先送りはよくない。主な反対理由は、①人口減に対して財政的な準備ができていない。②公共施設の老朽化に対する財源が不足しているが、準備ができていない。③合併は最大の行政改革と認識しながら、予算では取り組みがない。

### 反対 討論

唐沢捷一議員

町長車の大型化は問題

予算は住民のためのもの、これをチェックする立場で反対討論する。①町長専用車として大型ワゴン購入は理解できない。②目的のない高額な土地取得を教育費にて計上。優先順位から疑問である。③行政財産の事務管理に不備があった点などを指摘し、当初予算に反対する。

### 反対 討論

野原洋子議員

用地購入を教育費から？

防災士資格取得の補助金制度の開始など評価するが、西原自然の森用地購入費1億2223万9000円が教育費に高額計上されている。教育費は未来を担う子供たちのためのものである。各学校から改善要望がたくさん出ているのに、なぜこの費用を教育費から出すのか。反対する。

### 反対 討論

九山妙子議員

借地の解消は学校用地から

①就任後、町長室を廃止した町長がなぜ、町長公用車に新車を購入するのか。②西原自然の森の購入費がなぜ利用目的のない教育費なのか。子どものために使うイコール教育費である。③社会教育の充実のなかにあってこそ、郷土資料館の良さが伝わる。④借地の解消は、なぜ学校用地が優先にならないのか。

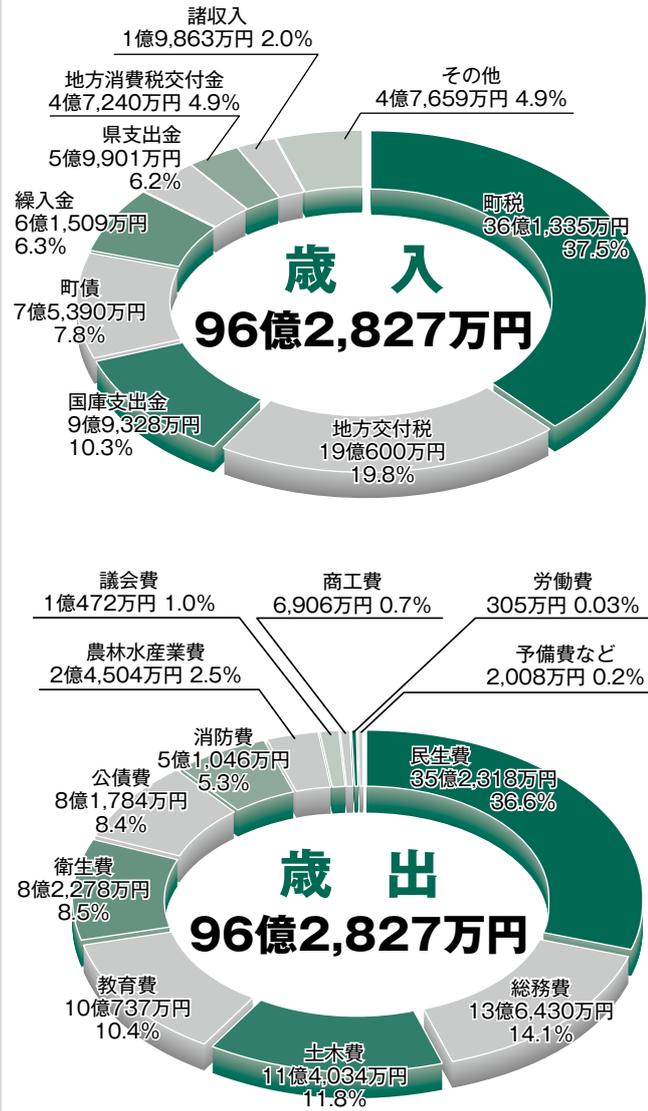
96億2827万円で新年度スタート

子育て世代包括支援センターを新設

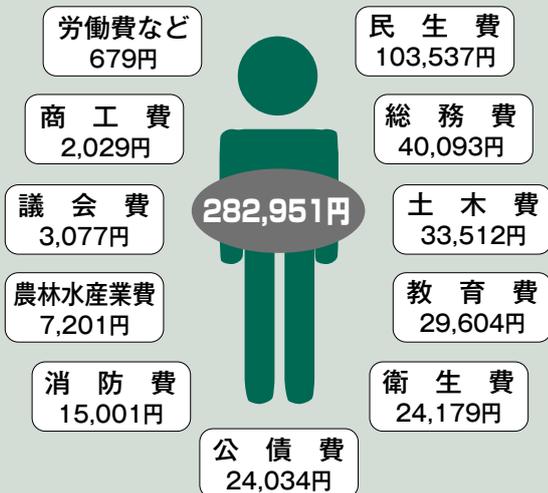
平成30年度一般会計と特別会計、企業会計の7つの会計予算については、本会議での総括質疑と、今議会から新たに設置した予算特別委員会それぞれ審議しました。

予算特別委員会では、延べ7日間にわたって各課ごとに質疑応答を行い、徹底チェックしました。

一般会計予算の内訳



一般会計歳出予算の町民1人当たりの金額



※人口34,028人（平成30年3月1日現在）

## 主な使いみち

環境衛生事業	421万円
進修館管理事業	3,084万円
交通安全対策事業	1,259万円
防災活動事業	1,652万円
自転車対策事業	690万円

## 生活・環境

### 和戸駅周辺の第2駐輪場の稼働率が低い

**問** 和戸駅周辺の第2駐輪場の稼働率が低いようだが、今後の見通しは。

**答** 稼働率は平成28年度が48・5%、29年度が34・2%という状況。和戸駅直近に民間の有料駐輪場がオープンしたこと、さらには利用者が増えていないかと思われる。増えるかの見通しはわからない。

**問** 消防団第2分団の詰所についての概算の工事費は。

**答** 第6分団の工事費と同じくらいと見込んでいます。概ね30000〜35000万円を見込んでいます。

**問** 自治会長の仕事量が地域敬老会、サロン、防災・防犯など、年々増えている。手厚い手当を考へては。

**答** お金だけではなく、本当に地域の核となつてもらう方なので、活動しやすい環境づくりを工夫していきたい。



## 主な使いみち

広聴・広報事業	611万円
町民法律相談事業	182万円
OA管理事業	1億529万円
ふるさと納税管理事業	970万円
統計調査事業	242万円

## 総務・財政

### 便利バスの見直し、安全面は大丈夫か

**問** 便利バスが走る事業は前年度と比較して1476万円の増となっているが。

**答** 現在の運行は3月31日で契約が終了する。新たに車両の入れ替えが大きな増額理由の一つとなっている。また、新たに百間4丁目と2丁目にバス停を設置することによるもの。

**問** 安全面についてはどのようなになっているのか。

**答** 住民から苦情があれば事実確認をして連絡をとる。月1回の定例の打ち合わせの中でも、安全面について管理運行するようお願いしている。

**問** 西原自然の森と同じように公共施設用地の借地解消を図っていくのか。

**答** 今後は公共施設整備基金や地方債を活用し、学校や図書館、庁舎周辺、進修館の用地などを購入していきたい。



## 主な使いみち

都市計画道路整備事業	3,828万円
一般住宅耐震対策事業	500万円
公園等環境管理事業	2,584万円
新しい村管理運営事業	6,999万円
メイドイン宮代PR事業	135万円

# 建設・観光

## 東小五差路の歩道設置工事は、いつから始まるのか

**問** 東小五差路の歩道設置工事は、いつから始まっていつ終わるのか。地元への説明会は。

**答** 杉戸県土整備事務所と教育委員会、道路担当であるべく早く完成できるように調整を図りたい。全体の説明会を開く予定はないが、周辺の方には説明する。

**問** 東武動物公園駅西口周辺整備事業の関係で、東武鉄道の空き地についてはど

ういう状況なのか。

**答** 面積は決まっていないが、商業施設を考えているようだ。東武鉄道も多方面から検討中で、会社としての方針が決まり次第、町に連絡があるものと思う。

**問** 宮代町中小企業融資制度は平成19年から11年間、実績がゼロ。廃止の考えは。

**答** 宮代町の金利は17%。預託先の金融機関3行と金利も含め相談をしたい。



## 主な使いみち

保健予防事業	8,754万円
母子保健事業	3,269万円
福祉医療センター運営事業	2,793万円
障害者地域生活支援事業	3,339万円
学童保育所運営事業	5,111万円

# 保健・福祉

## ファミリーサポートセンターの立ち上げ時期は

**問** 新規事業であるファミリーサポートセンターの準備や立ち上げの時期は。

**答** 4～5月に会員募集や事業実施について周知を図っていく。6～7月にスタートできればと考えている。

**問** 学童保育指導員は41人の体制で十分か。

**答** スタッフを増やしてほしいという声もあり、指導員については随時募集を行っている状況。現場で十分

な対応ができるようなケア、増員に努めているところ。

**問** 健康増進計画はいつまでに作るのか。

**答** 平成30年度に計画策定まで終了する予定である。

**問** 六花の施設運営のあり方を検討するための調査費用とは、具体的に何か。

**答** いま、六花に何が必要なのかというところを少し整理し、スリムにという方向になるという認識でいる。



平成30年度一般会計当初予算の修正案は、「①町長公用車の購入費を削除。②西原自然の森用地購入費の予算科目を教育費から総務費へ変更」で提出されました。採決の結果、賛成10、反対2で可決しました。

## 反対討論

丸藤 栄一 議員

### 修正内容は原案とかわっていない

①町長は当初予算の否決をうけて、内容を改めて検討すると言ったが、修正内容は原案とほとんどかわっていないので反対する。

②一時不再議の原則は、議会が一度否決したので、同一の議案については、同じ会期中に審議することはできないとする原則に反している。臨時会を開いて審議するべき。

## 賛成討論

金子 正志 議員

### 合併テーマのタウンミーティングを開く

新井町長は「平成30年度内に必ず合併をテーマにしたタウンミーティングを開く」と約束した（会派別の予算説明会にて）。

合併をすれば、宮代町、杉戸町のさまざまな課題を解決できると思う。

約束を実行することを信じて予算に賛成する。

## 賛成討論

野原 洋子 議員

### 町民の利益、町の収益になる土地利用を

この度の編成により西原自然の森用地購入費が教育費から総務費に変わった。毎年の借地料を考えると契約更新の今が妥当であると考えている。しかしながらまだこの土地利用は決まっていない。町民の利益になり、町の収益につながるような土地利用を早急に企画することを要望し、賛成する。

## 賛成討論

丸山 妙子 議員

### 学校用地の取得を最優先に

社会教育施設整備事業に含まれていた、目的が明確でない西原自然の森用地取得事業を、教育債から総務債に変更したことを評価する。

今後、町長車の必要性や自然環境に配慮し、この町にふさわしい町長車の検討を要望する。

現在、借地である須賀中学校のグラウンドなど学校施設を最優先に取得するよう要望する。



## 主な使いみち

小学校英語教育の推進	1,804万円
図書館管理運営事業	8,279万円
社会教育活動事業	222万円
総合運動公園管理事業	6,025万円
文化財保護事業	97万円

# 教育・文化

## 小・中学校の就学援助(入学準備金)を入学前に支給

**問** 経済的に大変な小・中学校の保護者に対し就学援助(入学準備金)を入学前に支給すべき。

**答** 国からの通知などもあり、町就学援助実施要綱を昨年12月に一部改正した。平成30年の入学に間に合うよう、この3月に支給する準備をした。

**問** 不登校で長期欠席の児童生徒の人数と理由、それらの対応について。

**答** 児童生徒の長期欠席者

数は、平成29年2月20現在で小学校9人、中学校21人。理由は病気、人間関係のトラブル、家庭の環境に課題がある。今後は原因について多面的に対応し、学校を指導していく中で一人ひとりに応じた対応をしていく。

**問** 道仏地区の区画整理地内からどのような遺構や遺物がでてきたのか。

**答** 古墳時代の住居跡が約40軒見つかった。



# 国保の都道府県化始まる

## 県が財政運営責任を担い、安定化へ

### 国民健康保険

#### 賛成10、反対2で可決

平成30年度から、国民健康保険制度の都道府県化が開始されます。県が国民健康保険制度の財政運営の責任主体となり、市町村とともに国保運営を担うこととなります。

県の役割は運営方針を策定するとともに、市町村ごとの国保事業費納付金を決定し、納付金の徴収、市町村の標準保険税率の提示、保険給付費に必要な額を市町村に交付します。

市町村の役割は、保険税率を決定し賦課徴収を行うとともに、被保険者の資格管理、届け出の受付、保険証の発行、保健事業による被保険者の健康づくりのための事業などを実施し、被保

険者に身近なきめ細かい事業を担います。

### 主な質疑

**問** 宮代町の平成29年度と平成30年度の保険料はいくらになっているか。

**答** 一人当たりでは29年度は8万5544円、30年度は8万1945円。

**問** 被保険者が減少した理由は、平成28年10月の被用者保険の拡大の影響がある。あと後期高齢に移行している方が大変多くなっている。

**問** 特定健康診査の受診率37%と県平均より低いですが、受診率をあげる方策は。

**答** 健康マイレージの特典をさらに付与する取り組みや、春日部市への特定検診の乗り入れなど今後検討していきたい。

会計区分	平成30年度	前年度増減額	増減率
国民健康保険	39億5,054万円	△8億7,845万円	△18.2%
介護保険	29億8,980万円	2億5,458万円	9.3%
後期高齢者医療	4億9,383万円	5,538万円	12.6%
公共下水道事業	9億7,855万円	△4,034万円	△4.0%
農業集落排水事業	5,272万円	△387万円	△6.8%
水道事業	12億1,618万円	△5,329万円	△4.2%

平成30～32年度 介護保険料段階一覧表

段階	対象となる方		介護保険料 (年額)
第1段階	非課税 住民税 世帯	生活保護受給者・老齢福祉年金受給者 課税年金収入額+合計所得金額が80万円以下の方	※26,300円
第2段階		課税年金収入額+合計所得金額が 80万円を超えて120万円以下の方	43,900円
第3段階		課税年金収入額+合計所得金額が 120万円を超える方	43,900円
第4段階	課税 住民税 世帯	本人が住民税非課税で課税年金収入額 +合計所得金額が80万円以下の方	49,700円
第5段階		本人が住民税非課税で課税年金収入額 +合計所得金額が80万円を超える方	58,500円
第6段階	本人が 住民税課税者	合計所得金額が120万円未満の方	67,300円
第7段階		合計所得金額が120万円以上 200万円未満の方	76,100円
第8段階		合計所得金額が200万円以上 300万円未満の方	87,800円
第9段階		合計所得金額が300万円以上 400万円未満の方	99,500円
第10段階		合計所得金額が400万円以上 600万円未満の方	105,400円
第11段階		合計所得金額が600万円以上の方	111,200円

※第1段階の保険料額は、「低所得者軽減強化」により公費投入による軽減が行われた額です。

# 第7期介護保険計画

## スタート

### 介護保険

#### 賛成10、反対2で可決

**問** 介護保険料改定の近隣の状況は。

**答** 久喜市28%、白岡市6%増額改定、杉戸町10・7%、蓮田市1.7%減額改定。県内では、下げたところが7団体、残り56団体は増額、もしくは据え置きとなっている。

**問** 地域介護予防活動支援として、体操教室などは町内にいくつあるのか。

**答** 地域交流サロンは現在23か所。それ以外の体操教室は14か所で活動している。

**問** 介護予防リーダー養成講座と介護予防サポーター養成講座とあるが、何人いるのか。

**答** 介護予防リーダーを32年度までに120人確保する目標だが、毎年20人前後育成している。健康運動指導士を派遣し実施している。

**問** 介護保険法改正によって利用料3割負担が導入されるが。

**答** 国の資料によると全体の3%の方が該当と見込まれる。

#### 反対討論

山下秋夫議員

介護保険の度重なる改定は、負担増と給付制限を押し付けている。利用料は2割負担、要支援の訪問介護と通所介護は保険給付から外され、自治体の総合事業となる。特別養護老人ホームの対象者は原則要介護3以上に縮小された。

新たな介護保険法の改定により、利用料が3割負担となる。町は、国に対し3割負担をやめるよう求め、現行の介護医療床体制を維持し、サービスの向上、負担軽減をするよう述べ反対とする。

#### 賛成討論

角野由紀子議員

サービス利用者、保険給付費の大幅増加が推計される中、保険料は据え置きとしているが所得の高い階層を細分化し、11段階としたことや、準備基金からの適切な繰り入れを行ったからである。

地域包括ケアシステム構築へ一層の取り組みが図られ、介護予防・健康づくり支援事業、地域交流サロン支援事業など、身近な地域の中での主体的な活動が増額されている。地域共生社会の実現を目標に、その成果を期待する。

後期高齢者医療

△賛成10、反対2で可決▽

後期高齢者医療保険料は前年度より4672万円増の3億9395万円。75歳到達による被保険者の増加が見込まれるため。

反対討論

山下 秋夫 議員

臨時特別交付金の廃止・縮小、高額療養費の上限額の引き上げ、窓口負担の増額など高齢者の生活を圧迫している。



委員会の視察（マンホールトイレの説明）

公共下水道事業

△賛成10、反対2で可決▽

歳入歳出は9億7855万円。公共下水道施設管理事業は2647万円。管きよ等新設改良費は1億3163万円。流域下水道施設管理事業は1億4446万円。利子償還事業は1億446万円。

反対討論

山下 秋夫 議員

高い水道料金にリンクする下水道使用料が負担増となっている。水道料金の値下げとともに下水道使用料金を引き下げる努力をすべきである。

農業集落排水事業

△全会一致で可決▽

前年度より387万円の減。人事異動に伴う人件費の減、施設管理委託料の減による。

水道事業

△賛成10、反対2で可決▽

給水件数は1万4800件で前年度より200件の増、年間総給水量は396万m<sup>3</sup>で20万m<sup>3</sup>の減。給水収益は6億8172万円で、前年度より638万円の増を予定。

道仏土地区画整理地内の給水件数の増加は収束に向かっており、水道事業の経営環境は依然厳しい状況である。

反対討論

山下 秋夫 議員

水道の供給単価は県平均よりも22・2円も高い設定となっている。基本料金の県比較で口径13ミリでは、6番目に高い。さらに基本水量は10m<sup>3</sup>で水道使用量の低い利用者は高い料金を払うことになる。水道料金を引き下げること、及び基本水量の引き下げを求める。



条例

特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

△賛成10、反対2で可決▽

町税及び国民健康保険税の徴収事務をより一層推進するため、徴収事務に関して知識と経験のある県職員OBなどを非常勤職員として任用する。町職員への指導や助言、そして納税交渉や滞納処分などに積極的に取り組んでもらう。

反対討論

山下 秋夫 議員

指導員を採用しなくても徴収率は向上している。年数回の職員研修会を行えば徴収対策はできる。年間216万円も費用をかける必要はない。

コミュニティセンター進修館条例の一部を改正する条例

△賛成10、反対2で可決▽

大ホールの附帯施設として無料施設とされてきた談話室の改修工事を実施した。談話室の貸し出しを有料とする。1時間当たり300円。

# 人事

## 議会で同意しました

教育委員会委員に  
菊地信一氏



全会一致で同意しました。任期は4年です。

監査委員に  
新祖章氏



全会一致で同意しました。任期は4年です。

公平委員会委員に  
田口寿美子氏



全会一致で同意しました。任期は4年です。

固定資産評価審査委員に  
関永一徳氏



全会一致で同意しました。任期は3年です。

# 平成30年度一般会計補正予算

## 補正予算の主なもの

事業名	補正額	内容
まちづくり基金積立	1,000万円	ふるさと納税の増による
ふるさと納税管理	211万円	返戻品等の増
防犯活動	△220万円	防犯灯電気代見込額の減
新しい村管理運営	△108万円	駐車場拡張工事に未着工
都市計画道路整備	△7,970万円	事業実績（春日部久喜線）
小学校施設管理	74万円	笠原小普通教室増による備品購入

### 一般会計補正

△全会一致で可決

歳入歳出に1億6866万円を減額する。歳出は土木費1億4617万円、民生費1492万円、衛生費889万円、農林水産業費735万円を減額。平成30年度に繰り越して使用することができ経費は、東武動物公園駅東口周辺整備事業5800万円、西口周辺整備事業3375万円など。

### 公共下水道事業補正

△全会一致で可決

公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）は歳入歳出に5677万円を減額し10億783万円とする。各事業の執行実績確定による減額が主な内容。歳入減は町債3160万円など。歳出は下水道管理費2377万円、下水道新設改良費3300万円。

### 農業集落排水事業補正

△全会一致で可決

### 財産の取得について

△全会一致で可決

公設宮代福祉医療センターに設置している介護備品の故障に伴い、買い替える。

種類 昇降式介護浴槽  
金額 723万6千円



# 新しい議会構成が決まりました

## ともに力を合わせ“まちおこし”を

### 総務文教委員会 6人



委員 伊草弘之  
丸山妙子  
丸藤栄一  
角野由紀子  
副委員長 金子正志  
合川泰治

### 福祉産業委員会 6人



委員 山下秋夫  
田島正徳  
小河原正  
関弘秀  
副委員長 野原洋子  
唐沢捷一

### 議会運営委員会 6人



委員 丸藤栄一  
小河原正  
伊草弘之  
角野由紀子  
副委員長 合川泰治  
唐沢捷一

### 議会広報委員会 5人



委員 田島正徳  
丸藤栄一  
丸山妙子  
副委員長 角野由紀子  
金子正志



議長  
中野松夫

議会や町が取り組むことの第一は住民が安心して暮らせることです。そのためには、快適で持続可能なまちづくりを進めることにあります。今、少子化や高齢化は大きな社会問題にもなっています。子育て支援や高齢者の対策は急務です。医療、介護、保健、福祉、保育など課題は多岐にわたります。また、安全や防災、インフラ整備も重要なテーマです。住んで良かったといえる宮代町でありつづけるため、町の課題に積極的に取り組んで参ります。



副議長  
関弘秀

宮代町でも少子高齢化・人口減少が急速に進んで参ります。ますますこれからの行政運営、住民サービスの継続など多くの課題にしっかりと取り組み、皆様が安心して暮らせるまちづくりを考えて参ります。そのためにも、住民の代表としての議会の役割を認識し、これからの議会の円滑な運営、さらなる活性化、また、政策立案への機能を推進し皆様に信頼される議会となるよう努力して参ります。

#### 久喜宮代衛生組合議会議員 5人

議員	丸山妙子
〃	野原洋子
〃	角野由紀子
〃	小河原正徳
〃	田島正徳

#### 広域利根斎場組合議会議員 2人

議員	唐沢捷一
〃	丸藤栄一

#### 埼玉東部消防組合議会議員 2人

議員	山下秋夫
〃	合川泰治

#### 議会選出監査委員 1人

伊草弘之
------

# 議案に対する各議員の賛否

○賛成 ●反対 欠…欠席 退…退席  
 - 議長は採決に加わらない

議案番号	議案・主要内容	議決結果	新政宮代			みやしろ		日本共産党		公明党		議案		議長
			田島	伊草	合川	唐沢	丸山	丸藤	山下	関	角野	小川	金子	
			正徳	弘之	泰治	捷一	妙子	栄一	秋夫	弘秀	由紀子	正志	洋子	松夫
1	専決処分の承認を求める…公設宮代福祉医療センターにおける介護用備品が故障し、施設運営に支障をきたしたため、緊急に買い替える予算を計上する必要が生じた。	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	-
2	重度心身障害者医療費支給に関する条例の一部を改正する条例…国民健康保険法及び高齢者の医療の確保に関する法律の一部改正に伴う。	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
3	コミュニティセンター進修館条例の一部を改正する条例…談話室改修に伴い施設使用料を徴収するため。P10	可決	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	-
4	都市公園条例の一部を改正する条例…都市公園法施行令の一部改正に伴い、都市公園条例の一部を改正。	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
5	個人情報保護条例及び情報公開条例の一部を改正する条例…個人情報の保護に関する法律の一部の改正に伴う。	可決	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	-
6	介護保険条例の一部を改正する条例…平成30年度からの介護保険料の改定及び介護保険法の一部改正等に伴う。	可決	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	-
7	みやしろ健康福祉事業運営委員会条例の一部を改正する条例…障害児福祉計画及び地域福祉計画の策定による。	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
8	特別職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例…非常勤職員として、徴収事務指導員を新たに任用。P10	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
9	後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例…高齢者の医療の確保に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う。	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
10	国民健康保険支払基金条例を廃止する条例…国民健康保険制度の運営の都道府県化に伴い、支払基金の設置目的が終了するため。	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
11	土地区画整理事業推進基金条例を廃止する条例…幸手都市計画事業道仏土地区画整理事業が換地処分されたため。	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
12	町道路線の認定…首都圏中央連絡自動車道の建設に伴い、整備された機能補償道路を町道路線として認定。	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
13	町道路線の廃止…首都圏中央連絡自動車道の建設に伴い、整備された機能補償道路の町への帰属に伴う。	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
14	教育委員会の委員の任命につき同意を求める…新たに菊地信一氏を教育委員会の委員に任命。P11	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
15	監査委員の選任につき同意を求める…新たに新祖章氏を監査委員に選任。P11	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
16	公平委員会の委員の選任につき同意を求める…引き続き田口寿美子氏を委員に選任。P11	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
17	固定資産評価審査委員会の委員の選任につき同意を求める…引き続き関永一徳氏を委員に選任。P11	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
18	埼玉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少について…埼玉県市町村総合事務組合から入間東部地区衛生組合を脱退させることを議決	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
19	埼玉県市町村総合事務組合の規約変更について…地方自治法の規定により変更することについて議決を求める。	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
20	平成29年度一般会計補正予算(第5号)…各種事業の確定による減額並びに国県支出金の返還及び国民健康保険特別会計への繰越金の増額などに伴う。	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
21	平成29年度国民健康保険特別会計補正予算(第4号)…各種事業実績及び各種の交付金交付見込み額の減額に伴い、2億1,433万4千円減額。	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
22	平成29年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)…埼玉県後期高齢者医療広域連合納付金の増額に伴い、1,785万2千円を追加。	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
23	平成29年度公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)…事業費の確定に伴い、5,677万円減額。P11	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
24	平成29年度農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)…事業費の確定に伴い、425万円を減額。	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
25	平成30年度一般会計予算…総額を96億3,400万円とする。P2	否決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
26	平成30年度国民健康保険特別会計予算…総額を39億5,054万2千円とする。P8	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
27	平成30年度介護保険特別会計予算…総額を29億8,980万2千円とする。P9	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
28	平成30年度後期高齢者医療特別会計予算…総額を4億9,383万6千円。P10	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
29	平成30年度公共下水道事業特別会計予算…総額を9億7,855万7千円とする。P10	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
30	平成30年度農業集落排水事業特別会計予算…総額を5,272万4千円とする。P10	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
31	平成30年度水道事業会計予算…総額を12億1,618万円とする。P10	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
32	財産の取得…公設宮代福祉医療センターに設置している介護用備品の故障に伴い、買い替え。	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
33	国民健康保険税条例の一部を改正する条例…地方税法及び航空機燃料譲与税法の一部を改正する法律の施行に伴う。	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
34	監査委員の選任につき同意を求める…新たに伊草弘之氏を監査委員に選任。P12	可決	○	退	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
35	平成30年度一般会計予算(修正)…総額を96億2,827万7千円とする。P7	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

# 町政をたぐす

一般質問は2月21日、22日、23日の3日間おこなわれました。

12人の議員が登壇し、大雪対策、新年度の予算編成、子育て支援、農業問題など42項目にわたり、町の考えをたがしました。

ここに掲載したものは、質問・答弁ともに質問者が507字以内にまとめたものです。

(太字は質問・答弁を掲載しています)



本会議の様子

## 一般質問項目一覧 (掲載は抽選順)

### 1. 野原 洋子 議員…………… P15

- ① 町内の除雪対策
- ② 宮代町の保育認定
- ③ 道佛地区の信号機設置は

### 2. 合川 泰治 議員…………… P15

- ① 農まちのこれから
- ② 宮代町商工会への支援
- ③ 英語教育の推進
- ④ 宮代町外交官の活用

### 3. 角野 由紀子 議員…………… P16

- ① 住民納得度と職員満足度
- ② 学校での心肺蘇生教育の普及推進及び突然死ゼロを目指した危機管理体制の整備
- ③ トイレの洋式化

### 4. 田島 正徳 議員…………… P16

- ① 住民の安心安全
- ② 今後の採用プラン
- ③ 振り込め詐欺などの特殊詐欺対策

### 5. 伊草 弘之 議員…………… P17

- ① 宮代町の優良農地を活用・保全し、持続可能な農業経営をしていくための施策
- ② 従来型の観光振興を見直し、新しい観光地域づくりを推進するための施策を

### 6. 関 弘秀 議員…………… P17

- ① 防災への取り組み
- ② 高齢者への支援は
- ③ 町内活性化に向けて

### 7. 丸藤 栄一 議員…………… P18

- ① 第7期介護保険事業計画
- ② 国民健康保険の広域化
- ③ 国保の子どもの均等割減免で子育て支援を

### 8. 金子 正志 議員…………… P18

- ① 町長退職金
- ② 笠原地区の浸水の報告
- ③ 非正規職員の声を尊重して
- ④ 子どもの学習支援
- ⑤ 町長選挙
- ⑥ 自主的な合併

### 9. 丸山 妙子 議員…………… P19

- ① 文化面での顕著な活躍等に表彰規程を提案する
- ② 町立小中学校の制服の価格の検討及び体育着、体育館シューズ等学校指定の必要があるのか
- ③ 町内在住の障がいのある方々に安心の住み家を
- ④ 防災対策に積雪対応を

### 10. 小河原 正 議員…………… P19

- ① 当初予算編成の姿勢
- ② 自転車保険の加入義務化
- ③ 大雪対策
- ④ 和戸横町区画整理事業

### 11. 山下 秋夫 議員…………… P20

- ① 宮代町の相談記録
- ② 公共施設の水道凍結と大雪対策
- ③ 最低賃金

### 12. 唐沢 捷一 議員…………… P20

- ① 新井町政の初予算編成
- ② 商店会の街路灯
- ③ 空き家対策
- ④ 地域交流サロンの支援



## 4年間の研究成果を糧に 英語教育の充実を 教育課程特例校の指定を受けた

合川 泰治 議員

**問** 「英語が話せるまち」を目標とし、取り組むべきと考えるが町の見解は。

**答 教育長** 平成26年度から4年間行われてきた百間中学校区での文部科学省「外国語教育強化地域拠点事業」では、

小学校での英語教育について研究を重ね、一定の成果を得て今年度で終了する。こうした4年間の研究実績を無駄にせず生かしていくことを考え、文部科学省に教育課程特例校の申請をし、指定を受けることができた。2年前倒しで3、4年生は年間35時間、5、6年生は70時間の次期学習指導要領にのっとった教育を町内4校の小学校で実施することになった。

**問** 町直営での運営となっている新しい村に町職員の出向を図るべきと考えるが見解は。

**答 産業観光課長** 当町では人事異動が平均的に5年前後であること、代替職員の育成・配置も用意しなければならぬこと、さらに少人数の組織体であることなどを考えると出向は現実的に厳しいと考えている。

**問** 宮代町商工会が苦境に立たされており、機能の低下が懸念される。町の支援を。

**答 産業観光課長** 基本的には、それぞれの組織でできる手立てを考え、連携して事業効果をあげることが必要だと考えている。

英語教育の充実で宮代から世界へ



空き店舗を活用した乳幼児施設

## 保育認定の見直しと 乳幼児保育の取り組みを 多様な保育ニーズに配慮し弾力化を図る

野原 洋子 議員

**問** ①現在、宮代町では生後6か月を過ぎないと保育申請ができない。多様な家族構成や子育てに対応し他市町では生後2か月からの保育を受け入れている。当町の保育認定の見直しはいかがか。②駅前

の空き店舗を乳幼児保育施設に活用できないか。

**答 福祉課長** ①多様な保育ニーズに配慮し取り扱いの弾力化を検討する。②東武動物公園駅西口開発の中に保育所の誘致を東武鉄道に要望しているが、乳幼児保育の希望者が増加しているため、小規模保育事業者に空き物件利用を働き掛けていく。

**町内の除雪対策**

**問** ①町内の雪による被害の把握と町民からの除雪要請の件数、除雪委託業者の対応はどうなっているか。②通学路

や駅前広場の除雪に小型除雪機の購入はいかがか。

**答 町民生活課長** ①転倒事故などによる救急車搬送は9件。町民からの除雪要請はおもに通学路など20件。宮代町建設土木事業者協力会8社に委託した。②機械による除雪の検討もするが、防災の観点から地域の力の育成も重要と考えている。

**問** 道佛地区の信号機設置はいかがか。

**答 町民生活課長** 計画区間全線開通時に協議する。



一人ひとりの幸せ度を高めるお手伝いを

## 住民納得度と職員満足度 今後の取り組みは

### 職員の満足度や意識の向上は不可欠である

ている。全職員に公表し、意識の共有化を図っている。住民の福祉増進という目標達成には、職員の満足度や意識の向上が不可欠であり、今後も把握に努めていきたい。

#### 住民納得度

角野 由紀子 議員

問 住民とどう対話をするか。

答 町長 地域別タウンミー

ティングやテーマごとの集会などさまざまな手法を組み合わせていきたい。

問 公共施設、トイレの洋式化

問 学校や避難所のトイレの洋式化への取り組みは。

答 教育推進課長 洋式化率

は、小学校が32・7%、中学校25・3%、公民館65%、進修館89%である。随時修繕、改修に努め、徐々に転換を図っていきたい。当初予算に中学校の劣化診断を計上し、次年度以降に学校環境整備対策を講じたい。

心肺蘇生教育の推進

問 児童・生徒への心肺蘇生教育の現状と方向性は。

答 教育長 小・中学生は

「保健」で学習している。教職員は毎年、実技講習会を実施している。生徒のAED救命講習は校長と相談したい。

#### 欺対策

問 宮代町において連続した

1月の振り込め詐欺の被害態と対策は。

答 町民生活課長 1月に入

り2日間で連続して4件の振り込め詐欺被害が発生している。合計1800万円の被害

が発生した。杉戸警察署にお

いて『振り込め詐欺被害防止

緊急連絡会議』を開催した。

予防手段として、電話を留守

番電話設定にしておく有効

である。カスミ・東武動物公

園駅改札付近で、被害防止の

啓発活動を実施した。

子供たちの安全を見守る交通指導員



## 大雪に対する町の対応について

### 7名による職員参集の待機体制を実施

田島 正徳 議員

問 大雪による町・職員の対応。そして近隣市町村との対応の違いは。

答 町民生活課長 大雪警報

が発表され、担当課職員7名

での待機体制。その後、町内

協力業者8社に除雪及び融雪

問 住民満足度、職員満足度どちらも重要だが。

答 企画財政課長 職員の満

足度は、「非常にある」「ある」をあわせて43%。やりが

いについては「非常にある」

「ある」合わせて53%になっ

て

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

振り込め詐欺などの特殊詐



## 一人暮らしの高齢者への支援は 生活支援体制整備を進め、地域に繋げる

関 弘秀 議員

**問** 一人暮らしの高齢者の確認及び支援内容。また、買い物、通院、食事の支援は。

**答** 健康介護課長 見守りの一環として、75歳以上の高齢者の一人暮らし家庭は、地域包括支援センターにて訪問活

動を実施。心臓などに持病を持つている一人暮らしの高齢者に対し、「緊急時通報システム」の設置。また、高齢者や心身に障がいを持つ方の栄養改善・健康増進、見守り活動を含めて、給食配食サービスを実施。買い物、通院、食事など自身で行うことが難しい方については、生活支援体制整備を進め、地域における支援に繋げて対応していくため、地域ニーズと担い手のマッチング、地域資源の開発など行う「生活支援コーディネーター」を配置。生活支援に

策が必要と考えるが、町の見解と解決策を伺う。  
**答** 産業観光課長 ①水田農業を持続させていくためには農地の集積・集約化や基盤整備への取り組みが課題である。水田農業促進エリアで、取り組みに向けて合意形成が図られるよう、進めていきたい。  
②「農地の所有者と耕作者は必ずしも一致しない」という基本的な考え方が重要であると認識している。集落営農などの先進的な取り組み事例を、地域に紹介していく。  
**問** 大雪に対する対処方法。  
**答** まちづくり建設課長 平成20年に締結した災害時の応急対策に関する協定書により、宮代町建設土木事業者協力会8社に対して、町内を8ブロックに分割しそれぞれ除雪を行う。主要な町道の除雪、勾配の急な坂道の除雪、凍結しやすい橋梁に融雪剤の散布など安全確保措置を行う。

まず、登録しましょう！

**地域包括支援センターとは**

地域包括支援（ちいきほうかつしえん）センターの役割

地域包括支援センターは、高齢者の駆け込み寺のような存在です。保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員等の専門職が保健・医療・介護・福祉等の高齢者やその家族の相談をお受けいたします。また、宮代町の実施する高齢者福祉サービス利用に関する相談・支援等についての窓口にもなります。



お電話ください



訪問いたします



お越しください



整備が進む水田の用排水路

## 持続可能な農業経営を するための施策は 農地の集積・集約化や基盤整備に取り組む

伊草弘之 議員

**問** ①稲作農業が抱えている問題を解決するためには、早急な基盤整備が必要と考えるが、その方策と町の役割について見解を伺う。

②農地の所有者と耕作者は一致しないという考え方の施

動を実施。心臓などに持病を持つている一人暮らしの高齢者に対し、「緊急時通報システム」の設置。また、高齢者や心身に障がいを持つ方の栄養改善・健康増進、見守り活動を含めて、給食配食サービスを実施。買い物、通院、食事など自身で行うことが難しい方については、生活支援体制整備を進め、地域における支援に繋げて対応していくため、地域ニーズと担い手のマッチング、地域資源の開発など行う「生活支援コーディネーター」を配置。生活支援に

策が必要と考えるが、町の見解と解決策を伺う。  
**答** 産業観光課長 ①水田農業を持続させていくためには農地の集積・集約化や基盤整備への取り組みが課題である。水田農業促進エリアで、取り組みに向けて合意形成が図られるよう、進めていきたい。  
②「農地の所有者と耕作者は必ずしも一致しない」という基本的な考え方が重要であると認識している。集落営農などの先進的な取り組み事例を、地域に紹介していく。  
**問** ①町内の観光事業団体の連携が必要と考えるが、現状について伺う。  
②観光振興を成功させるためには、観光を地域全体で考える「日本版DMO」の創設が必要と考えるが見解を伺う。  
**答** 産業観光課長 ①町の観光情報紙「宮代いーね！」に観光事業実施団体の事業情報の掲載を始めた。事業例では、「宮代マルシェ」などがある。  
②「日本版DMO」は、観光地域づくりを実現するための戦略策定を行う推進主体となるものと認識している。

※日本版DMOとは 官民の連携によって観光地のブランドづくりや情報発信、戦略策定など、「地域観光づくり」を推進する組織。



実態調査で「暮らし苦しいが4人に1人」。介護保険料の引き下げを

## 介護保険料の引き下げを

### 不測の事態に備え3000万円は残したい

丸藤 栄一 議員



**問** 介護保険料はどのように改定されるのか。  
**答** **健康介護課長** 第6期の基準額(月額) 4881円から第7期は4880円の据え置きと考えている。

どう感じているか?」という実態調査を実施した。ゆとりがあるは7.7%、ふつうは61.6%、苦しいは25.8%。こうした結果からも介護保険料の引き下げは当然ではないか。  
**答** **健康介護課長** 準備基金を年度末で3億2000万円見込んでおり、全額を取り崩せば月額4881円から4806円まで下げることが可能。しかし、不測の事態に備えて3000万円程度は留保しておく必要がある。

**問** 宮代町では、2017年度から国民健康保険税の税率や賦課方式を改正した。この改正により均等割額が増額され、子どもを多くかかえる世帯に対して負担が増えている。第3子以降の子どもの均等割を全額免除する制度を創設する考えは。  
**答** **住民課長** 減免した場合、今年1月末時点で対象者は67人、減免額は約253万円となる。町としては、今後の国の検討状況に注視し、国の負担による免除及び軽減の見直しなどを要望していく。

## 非正規職員の声を尊重して

### 良い職場環境に向け取り組みを進めていく

金子 正志 議員



**問** 非正規職員の意識実態把握と職場改善に向けたアンケート調査は行われているか。次のような内容について声を聞き尊重したかどうか。①処遇等で一層充実させてほしいと思うこと。②労働条件や職

場に対する満足度。③職場生活での不満や不安。④正職員と比べた自身の働き方。  
**答** **総務課長** 共に働くオフィスサポーターの声を尊重し、職場環境の改善につなげていくというのは、大切な視点であると認識している。現在のところ、オフィスサポーターに対してのアンケート調査は実施していない。それぞれの職場では、日々職員とのコミュニケーションが図られている。今後は、オフィスサポーターの率直な意見などをいただきながら改善

できることは改善し、より良い職場環境に向けた取り組みを進めていく。  
**町長選挙**  
**問** 合併は争点としないという考えがあったようだが、なぜか。  
**答** **町長** 今、合併した場合、伝統、文化、カラーといった宮代町の良い点が消されてしまふと考えている。町民が自分たちの町の将来について方向性をつけられるよう、タウンミーティングや市民参加の勉強を繰り返していくことで、市民力を高めていきたい。

2町を結ぶ泳ぐ「こいのぼり」





小河原 正 議員

## 大雪に備えた防災対策を 地域防災計画の改訂を進める

問 1月22日の大雪と記録的寒波で路面凍結による交通事故が発生した。今後の大雪対策をどのように行うか。

答 町民生活課長 宮代町内で発生した交通事故は12件。今回の除雪は、路面の雪を

地域防災計画の雪害対策は「予防・事前対策」として住宅の耐雪化や食料などの備蓄の推進を行う。「応急対策」として地域や路線の特性に合わせた除雪や防災行政無線などを活用した住民の情報発信を行う。「復旧対策」としては、ハウス倒壊などの被害に対する農業復旧支援などを加える。

当初予算編成の姿勢

地域防災計画の雪害対策は「予防・事前対策」として住宅の耐雪化や食料などの備蓄の推進を行う。「応急対策」として地域や路線の特性に合わせた除雪や防災行政無線などを活用した住民の情報発信を行う。「復旧対策」としては、ハウス倒壊などの被害に対する農業復旧支援などを加える。

町道252号線の延伸は、春日部市と協議が始まっているので、歩調を合わせて事業を進めていく。

宮代町の凍結道路



素晴らしい作品の数々が庁舎ロビーを彩る



丸山 妙子 議員

## 知事賞など顕著な活躍に 表彰規程を提案 規程を新たに設け授与するもの考える

問 ①新たな表彰規程が必要では。②長きにわたる活動で貢献された方々にも表彰を。

答 教育推進課長 ①文化協会において表彰規程を新たに設け、活躍者に対し授与するものとする。今後、町文化

協会と相談していききたい。

問 総務課長 ②表彰基準に課題はないが、町の発展に寄与する多様な活動が展開されている。実例や前例にとらわれず、現行の基準の運用面において、改善が図れるよう努めていく。

問 ①小中学校の制服の価格、体育着の価格は適正か。

②上履きや体育館シューズは学校指定が必要か。

答 教育長 ①適正価格の範囲内と考える。②各学校とも学年を区別するなど管理上の理由で上履きの色を指定。保

護者に対し、小中学校とも安全性に配慮し、メーカーや型番など指定するものでなく、ひとつの例として示す。

障がいのある方々に安心の住み家を

問 居住の場の確保をどう考え、進めるのか。

答 福祉課長 施設建設が前進するよう支援していきたい。

防災対策に積雪対応を

問 先を見通した具体策は。

答 町民生活課長 今回の改訂で地域防災計画に「予防・事前対策」や「応急対策」、「復旧対策」を追加した。



情報に誤りがあった場合、記載の訂正・追加の請求ができる

## 町の相談記録が

## 間違っていた時の訂正は

## 必要な調査をし、訂正するかしないか判断

山下秋夫 議員



**問** 町の相談記録が間違いの場合、訂正ができるか。

**答 総務課長** 証明をする資料を受理後必要な調査をし、訂正するか否かを決定する。

**問** 証明をする資料とは何か。

**答 総務課長** 例えばテープ

町長選挙を通して、皆様からの声を5本柱にまとめ、第4次総合計画の事業をバランス良く進めていく。

特に、子育て支援、小学校の英語教育、高齢者が活躍する支援事業、農業の担い手支援、商店街活性化、防災体制の確立、町の骨格づくりの都市基盤の整備等に取り組み。今後も各団体と連携し、町づくりを進めていく。

### 商店会の街路灯について

**問** 商店会の灯を消さないための維持管理や存続についての具体的な施策は。

起こしなどがある。今後も記録に間違いのないよう、正確に記録をとる。

### 今後の大雪対策は

**問** 公共施設での水道管凍結や通学路の除雪の山、歩道の除雪対策は。

**答 まちづくり建設課長** 凍結箇所は12か所所で修繕・防寒対策をした。歩道の除雪は困難。通学路対策は注意を払う。

**問** 小型の除雪機を導入し、駅周辺や通学路の対策を。

**答 町民生活課長** 地域防災計画の中に雪害対策があり機材の整備など盛り込まれてい

### 産業観光課長 商店会の街路灯は、夜間の買物客の利便性とイメージアップを目的に設置され、電気料補助制度を設けている。今後はさらなる商店会支援として、活性化事業を対象とする補助制度の創設を考えている。

### 空き家対策について

**問** 町は空き家対策にどのような取り組みでいくのか。

**答 まちづくり建設課長** 町は毎年7月と3月に現場確認し、所有者に通知している。今後は当町に適した空き家

施策を研究していく。

るので検討する。

### 町の最低賃金の考えは

**問** 最低賃金が昨年の10月に改定、町で働く非正規労働者の処遇改善の考えは。

**答 総務課長** 一般事務は、時給880円、保育士は1100円、学童保育指導員は資格者で945円、資格なしで880円である。現在の処遇内容は適正なものと考えている。

**問** これで生活できる処遇内容か。

**答 総務課長** 平成32年度から制度が変わり交通費、期末手当などの支給が可能となる。

## 「町を変える」予算を

## 皆様の声を形に

唐沢捷一 議員



**問** 昨年10月に町長就任後初の予算編成に、多くの町民が期待している。公約の各施策実現に向けての優先順位と「町を変える」具体的な予算になっているか伺いたい。

**答 町長** 職員時代の経験や

### 町を変える予算を



## 一部事務組合の平成30年度予算

### 久喜宮代衛生組合

**36億4,900万円**（前年度比8.0%増）

- ▶ **構成** 久喜市、宮代町の1市1町
- ▶ **主な収入** 負担金 29億3,239万円  
（宮代町は、4億7,752万円）
- ▶ **主な支出** 塵芥処理費 25億1,085万円  
（うち委託料 19億5,353万円）



### 広域利根斎場組合

**2億3,143万円**（前年度比7.8%減）

- ▶ **構成** 加須市、久喜市、幸手市、  
宮代町の3市1町
- ▶ **主な収入** 負担金 1億1,000万円  
（宮代町は880万円）  
施設使用料 1億76万円
- ▶ **主な支出** 委託料（施設管理等） 8,954万円  
需用費（燃料費等） 4,469万円



### 埼玉東部消防組合

**64億7,846万円**（前年度比0.9%増）

- ▶ **構成** 加須市、久喜市、幸手市、白岡市、  
宮代町、杉戸町の4市2町
- ▶ **主な収入** 負担金 62億6,797万円  
（宮代町は、4億7,198万円）
- ▶ **主な支出** 常備消防費 58億9,543万円  
常備消防施設費 3億1,630万円



## 町民の声



長谷川 豊さん  
(和戸4丁目)

この町で「農のあるまちづくり」を掲げてからもう二〇年くらい経ったと思いますが、あの頃と比べると竹林が荒れ、垣根の巨木が減り、草地と化した田畑が増えています。

「環境基本計画」の策定に関わっていたあの時、農家の後継者問題が真剣に論じられたものでしたが、それが切迫した問題として目や耳に入ってくる他人ごととは思えなくなりました。

最近、沖の山のネギ畑、宮東や山崎の田んぼ、東条原の大型農業ハウス等に、新しい村や民間会社の代理耕作や新規就農者の力が入っているように見聞きしますが、中須用水遊歩道南側の田んぼは、地形的条件もあってか改善が遅れているように見えます。

おせっかいかも知れませんが、町と議会と農協と地主さんと一般町民と、一緒に知恵を絞ってみたいですね。

新しい企画の寄稿、ありがとうございました。課題もいただきました。町民の皆様が普段感じていることを、できる限り届けていけるコーナーにしたいと思います。(広報委員会)

## 議会懇談会を開催します

日時 **5月12日(土)**

午前10時30分～12時30分

場所 **図書館ホール**

宮代町議会事務局  
☎34-1111 内線302



皆さまのご参加  
お待ちしております。

## 議会を傍聴しませんか

次回は5月31日(木) 午前10時  
開会予定です。(進修館 議場)

## 訃報

去る2月14日、現職の町議会議員の石井眞一議員(政策会議みやしろ)が逝去されました。総務文教委員長・監査委員などを歴任され、町の発展に貢献されました。

謹んでお悔やみ申し上げますとともに心よりご冥福をお祈りいたします。



故 石井眞一 議員

## 表紙の写真紹介

新学期が始まった。ピカピカの一年生も放課後は、保育園から児童クラブに仲間入り。保護者のお迎えまで指導員に見守られ、上級生と楽しい時間を過ごす。

## 編集後記

3月定例会では常任委員会の所属替えがあり、広報委員会もメンバーが代わりました。

今号の議会だよりは新メンバーでの初めての編集によるものです。新たな気持ちで編集作業に臨みました。

私たちは町民のみなさんに、議会がどのような議論をしているか、よくわかる議会だよりを目指します。

みなさんの声を生かして、読みやすい議会だよりづくりに編集委員一同力を合わせますので、これまで以上に関心を寄せていただければ幸いです。

(丸藤)